

第9回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第9回総合計画策定審議会

日時：2021年4月16日（金）15:00～16:40

場所：吉野町中央公民館 第3研修室

参加者：出席者名簿の通り（代理出席者：奈良県南部東部振興課西本課長補佐、欠席者：吉野製材工業協同組合中西委員、吉野町老人クラブ連合会更谷委員、吉野町青少年問題協議会里田委員、吉野町スポーツ推進委員東平委員、公募委員片山委員の計5名）

資料：・次第

- ・【資料1-1】基本計画（案）
- ・【資料1-2】第8回審議会意見とその対応
- ・【資料2-1】人口ビジョン・総合戦略（案）
- ・【資料2-2】総合戦略の新旧対照表
- ・【資料2-3】総合戦略と総合計画の各施策との関係
- ・【資料3】パブリックコメントの実施概要
- ・【資料4】今後のスケジュール（案）

【以下、協議内容】

1 開会

- 吉野町 政策戦略課小西課長より開会の挨拶を行った。

2 （1）基本計画（案）について（資料1-1、1-2）

- 「資料1-1 基本計画（案）」「資料1-2 第8回（3/24）審議会意見とその対応」に基づいて、基本計画の概要、各施策の更新内容などを中心に説明を行った。

【会長】

資料1-1 基本計画（案）の「4.今後の財政見通し」（p.54）に掲載されている歳入と歳出の見通しについて、交付税など国の制度に関係するものは現状維持を前提とするしかないと考える。

今回の総合計画の取組を進める上での財政状況に余裕があるわけではないが、総合計画の取組を進めていける状況という理解でよいか確認したい。

【事務局】

本町の財政状況が厳しいことには変わりはないが、基金の活用や行財政改革などにより、将来像の実現のための取組に必要な費用を捻出し対応していくことを予定している。

【会長】

社会情勢や新型コロナウイルス感染症の状況などさまざまな条件はあるが、現在の財政見通しにおいて今後 5 年間の財政運営は可能であることを記載することは難しいか確認したい。

【事務局】

今後の社会情勢の見通しが難しいため、財政運営ができることを記載することは難しいと考えている。

【会長】

町民が総合計画を読んだときに、厳しい財政状況下であっても社会情勢などに大きな変化がなければ財政運営をしていけることが伝わるとよいと思う。

また、歳出の推移 (p.54) を見ると、令和 5 年度に衛生費が増加しているがその理由を確認したい。

【事務局】

歳出の推移 (p.54) の衛生費の増加は、基本計画の施策 No.10 一般廃棄物の適正な処理の主な取組の「1.安定的に持続可能なごみ処理実現に向けた取組を推進します」に該当するごみ処理関係の費用を見込んでいます。

【委員】

5.人口見通しと目標人口の設定 (p.55) について、目標人口を達成するために基本計画に掲げている各施策を展開するという理解でよいか確認したい。

また、目標人口の考え方の内容は、具体的にどの施策に該当しているか確認したい。

【事務局】

例えば、若年層の人口を維持するため、施策 No.1 子育て支援の充実や施策 No.2 学校教育の充実などの取組を進めていく。また、雇用を創出するため、施策 No.12 商工業の振興などの取組により企業誘致や創業支援を進めていくなど、あらゆる施策の取組を進めることで目標人口の達成を目指す。

【委員】

施策 No.24 地域防災力の向上の施策の成果指標の No.5 「自宅からの避難所を知っている人の割合」について、昨年度、ハザードマップの作成・配布があったが、避難所がレッドゾーンにある地域が多くあった。そのため、避難所として指定されている場所を知っていても避難所に避難しない人も多いと思う。

災害等が発生した場合に「非難する場所を決めている人の割合」などとし、避難する場所が決まっていない人への支援を検討することが必要である。

【事務局】

現在、指標設定のためのアンケートを実施しているため、アンケート結果を踏まえて、担当課と検討・調整する。

【委員】

施策 No.33 広報広聴の充実の施策の成果指標の No.3 「広報誌の閲覧率」について、閲覧とは図書や書類を調べながら読むことであるため、「広報誌を読んでいる人の割合」などわかりやすい言葉で表記するのがよいと思う。

【事務局】

よりわかりやすく伝わりやすい表現への変更を担当課と検討・調整する。

2 (2) 吉野町人口ビジョン（改訂版）・第2期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（資料 2-1、2-2、2-3）

- 「資料 2-1 吉野町人口ビジョン（改訂版）・第2期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成（案）」「資料 2-2 総合戦略の新旧対照表」「資料 2-3 総合戦略と総合計画の各施策との関係」に基づいて、人口（自然動態・社会動態などの状況）、目標人口、目標人口実現のための取組などの説明を行った。

【中山会長】

(2) 自然増減に関する分析及び (3) 社会増減に関する分析を見ると、第1期の計画期間で、自然増減も社会増減も大きく改善できたわけではないと読み取れる。

また、本町の合計特殊出生率は、県内平均と比べて低くなっているが、これは通常結婚して子どもを産むため、有配偶者率も要因の1つと考えられる。有配偶者率は、男性45歳～49歳の年齢階層では2000年85.7%、2015年53.2%と減少しており、女性も同様に減少している。この有配偶者率の数値をどのように考えるかが重要である。

今回の人口ビジョンの改訂を機に現状をしっかりと確認した上で、人口減少の抜本的な改善に向けて検討を重ねていくことが必要であると考えます。

【委員】

合計特殊出生率は、岡山県奈義町は2.0%超と高い数値である。ただし、本町も第1期の計画期間において、お見合いや婚活パーティーなどに取り組んできたが、目に見える成果が上がるまでに至っていない。そのため、これまでの取組の総括をし、今後どのように進めて

いくつかを検討する必要があると思う。

【会長】

転出は、年齢階層から進学や就職、結婚のタイミングで転出している傾向であることが読み取れる。また、婚活パーティーで出会い、結婚したとしても、結婚を機に地域から転出することもあるため、結婚後も地域に住み続けてもらえるような支援ができればよいと思う。

資料 2-3 総合戦略と総合計画の各施策との関係の基本目標Ⅳ「新しいひとの流れをつくり、ひとが集う、魅力的な地域をつくる」の基本方針「②若い世代の転出の抑制・歯止め」の「一」はどのような意味か確認したい。

【事務局】

特定の施策ではなく、すべての施策と関係しているため「一」としている。

2 (3) パブリックコメントの実施概要について (資料 3)

➤ 「資料 3 パブリックコメントの実施概要」に基づいて説明を行った。

【会長】

新型コロナウイルス感染症の状況の見通しが読めないが、今後、県内で緊急事態宣言が発令されることも考えられる。そのため、仮に、緊急事態宣言が発令された場合でも町民から意見をもらえるような工夫を検討頂きたい。

審議会委員の皆様には、各所属団体でパブリックコメントの実施について情報共有頂き、積極的に意見を出して頂ければと思う。

2 (4) 今後のスケジュール (案) について (資料 4)

➤ 「資料 4 今後のスケジュール (案)」に基づいて、次回以降の審議会の日程及び内容、住民アンケートの実施概要 (調査期間や回収状況など)、パブリックコメントの実施概要などの説明を行った。

【会長】

総合計画及び総合戦略は 5 年間の計画であるため、町民からさまざまな場所で議論頂き、意見を出してもらえるよう各所属団体で働きかけ頂ければと思う。

2 (5) その他

➤ 特になし

3 閉会

- 吉野町 政策戦略課小西課長より閉会の挨拶を行った。

以上